

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 173 2014.4.6 連絡先 402-1622 >

産業廃棄物最終処分場建設計画について

2011年4月、山口・滝畑の山中に日本最大規模の産業廃棄物最終処分場建設の計画が明らかになりました。この計画に関して、今議会の厚生委員会で「関係機関等との協議結果報告書」「生活環境影響調査実施計画書」「生活環境影響調査実施計画書に伴う事業計画書」が事業者から市に提出されたと、報告がありました。書類はそれぞれ、確認や審査を行い、専門家の意見も聞いて、適切であるとすれば「生活環境影響調査」の実施へと進んでいきます。

計画地はどのようなところでしょう。計画地に降った雨は、「南谷池」に集まり、滝畑川となって流れていきます。やがて大阪に入ると、山中川、男里川と名前を変え、大阪湾に注ぎます。滝畑川の水質のよさは最高ランクで、滝畑地域の生活用水として取水されており、ホテルをはじめ水生動物も豊かで、下流の阪南市では、地下水を利用して酒造業も営まれています。これらの水が汚染される心配があります。

また、地質学の専門家によると、計画地あたりはたいへん地滑りをおこしやすい岩盤となっています。計画地に廃棄物を埋め立てることで、地下水の流れが変わり、地震や大雨で、崩壊・土石流の発生ということになりかねません。

山口・滝畑の住民のみなさんは、こういった不安や危険を伴う計画の中止を訴え、12万筆の署名を市に提出しています。

「和歌山市の豊かな自然をまもり、環境を考える会」は「今回の産業廃棄物最終処分場計画は、滝畑・山口地域だけの問題ではありません。ご一緒に、建設計画の撤回を求めていきましょう。」と、訴えています。



「社会保障は消費税で」という言葉にのせられると、「消費税率25%」か「病院代10%負担」かの選択を迫られる日



ていことを、もつともつと知らせなければ。

「社会保障は消費税で」という言葉にのせられると、「消費税率25%」か「病院代10%負担」かの選択を迫られる日

みち子のひとりごと 消費税・怒

消費税が8%になってしまいました。それにしても腹が立つのは、大企業への、輸出戻し税という制度。輸出企業は海外では日本の消費税を取れないから、その分国が消費税率に見合ったお金を企業に戻すというものです。そのおかげで、トヨタのある豊田市を管轄する税務署などは、赤字となっています。消費税率が上がれば大企業はもうかる仕組みです。庶民は、毎日の食料さえ買うたびに否応なく8%払わされ、売値に消費税分のせられないような小売店や中小業者は身銭を切つて払い、その一方で大企業には戻してあげ

「怒！」

こんにちは加藤なおとです



情勢は「自民VS共産」時代、その他
 の政党は自民党の補完勢力で自共対決が
 浮き彫りになったと。確かにそう思いた
 いのですが、たとえば新聞の世論動向を
 みると、自民支持率
 が20%くらいで公
 明が4%共産は2%
 3%なんて出ていた
 りします。対決軸は
 まさに自共対決だが
 多くに人の目にはそ
 う映っていないのですからそのギャップ
 を埋める活動が必要で、共産党自身が
 風を起こし、真実を知らせるしかありま
 せん。地域で職場で団体で共通する課題
 で文字も使って映像でもSNSでも工夫
 して本当のことを知らせることに執念を
 持ちたいわけです。全国数十万人の同志
 とその周りの人に宣伝マン、赤旗のセー
 ルスマンになってもらって日本中わつさ
 わつさと揺り動かせば次の選挙であつと
 驚く結果がでるかも。

日本共産党文教委員会責任者

藤森 毅さんに聞く

共産党は、道德教育をどう考えてるの？賛成？それとも反対？

賛成です。道德はシンプルに言えば善悪の判断で、人間として大切なものです。

じつは、その善悪の基準は時代により変化します。とくに日本では戦前と戦後の違いです。戦前は、天皇が主権者で国民はその家来（臣民）。道德も天皇が決め臣民の与える形をとりました。それが教育勅語です。そこではすべての道德が天皇への奉仕に結びつけられ、結局、非人間的な戦争を支える道具となりました。

今の社会は民主主義の社会。だから、主権者にふさわしい市民道德が必要で、それはみんなで考え、自ら選ぶ以外にあり得ません。私は道德といえば、憲法、特に個人の尊厳をベースにした道德、「私に尊厳がある」と互いに大切にしよう人間関係や社会を希求し、つくっていく勇気につながる道德を思います。それは、封建的で堅くらしいものではなく、生きづらい現実とむきあう現代人のツール（道具・手段）です。

道德教育は学校生活全体が大切です。体罰があるのに道德の授業だけをして、道德は育ちません。子どもたちが現実人間として受けとめられている、あるいは尊厳が傷つけられたときに一緒に怒る先生がいるというようなことが大事だと思います。

第6期和歌山市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員の募集

和歌山市は上記の委員の募集を行っています。市民の声を反映させるために、応募しましょう。

資格は—

平成26年4月1日に満40歳以上
6カ月以上、高齢者の介護経験のある方

平日の昼間の委員会に出席できること
市の付属機関等の委員でないこと
地方公共団体の職員、議員でないこと
、 はどちらか、 は必須。

仕事内容：上記計画の策定に伴う審議、検討等

任期：平成29年3月31日まで

募集人数：若干名

応募方法：申込書（形式自由）に・応募資格の別（又は）・住所・氏名（ふりがな）
・生年月日・電話番号を記載

作文：テーマ「応募動機」800字程度

締め切り：4月22日（消印有効）

640 8511 和歌山市七番丁23番地

介護保険課 給付班 へ郵送

こんにちは松坂みち子です No.173